

平成30年度

## 運営に関する計画

大阪市立佃小学校

平成30年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 全国学力・学習状況調査において、知識に関する問題では一定の成果が出ているが、活用の問題では課題が見受けられる。児童質問紙では朝食の摂取、学校が楽しいなどが全国平均を上回っており、友達関係や家庭環境は比較的落ち着いている。しかし、自分のよさに気づいている児童が多いとは言えない状況である。

### 中期目標

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成32年度の「全国学力・学習状況調査」における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を、平成28年度より向上させる。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度の「全国学力・学習状況調査」の国語・算数のそれぞれ活用に関する問題の正答率を平成28年度より向上させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標

- 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を94%以上にする。
- 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- ① 今年度の校内アンケートにおける「友だちとなかよくしている」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を94%以上にする。
- ② 今年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがある」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を70%以上にする。
- ③ 今年度の保護者アンケートにおける「保護者や地域の人たちの意見を聞き、開かれた学校になるように努めている」の項目について、「当てはまる（やや当てはまる）」と答える割合を前年度（69%）より向上させる。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標

- 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 平成30年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。

#### 学校園の年度目標

- ① 今年度の校内アンケートにおける「勉強がよくわかりますか」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を93%以上にする。
- ② 今年度の保護者アンケートにおける「グループ活動（全学年）や習熟度別学習（3～6年）等を工夫し、個に応じた学習を行っている」の項目について、「当てはまる（やや当てはまる）」と答える割合を前年度（73%）より向上させる。
- ③ 今年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を91%以上にする。
- ④ 今年度の手洗い・うがい週間での手洗い・うがいがんばり表における「給食前の手洗い・うがい」をした割合を96%以上にする。
- ⑤ 今年度の校内アンケートにおける「残さず給食を食べている」の項目について「よく思う、思う」の割合を95%以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立佃小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会 (学校園・家庭・地域) の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</li> <li>○ 平成30年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を94%以上にする。</li> <li>○ 平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</li> <li>○ 平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の校内アンケートにおける「友だちとなかよくしている」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を94%以上にする。</li> <li>② 今年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがある」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を70%以上にする。</li> <li>③ 今年度の保護者アンケートにおける「保護者や地域の人たちの意見を聞き、開かれた学校になるように努めている」の項目について、「当てはまる(やや当てはまる)」と答える割合を前年度(69%)より向上させる。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳教育や人権教育の推進】</p> <p>道徳の時間の指導を中心に、朝の会や終わりの会などを含めた学校生活すべての教育活動を通して、互いのよさを認め合いながら、自己肯定感を高める指導の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>道徳教育全体計画別葉の見直しと改善を図り、道徳教育を充実させる。また、「あいさつ運動」などの強調週間を年間2回実施する。</p>	
<p>取組内容②【施策3 地域や大阪らしさを生かした取組】</p> <p>東京佃島小学校との交歓会をはじめとし、地域との連携を図った教育活動を推進し、地域の伝統と文化を尊重する心を育む。</p> <p>指標</p> <p>全校児童が東京佃島小全児童と文通を行ったり、東京佃島小へ代表を送り交歓会をしたりする。また、地域などのゲストティーチャーによる授業を年間3回以上実施する。</p>	

<p>取組内容③【施策1 防災教育や安全教育の推進】</p> <p>津波を想定した避難訓練等を通して命の大切さを実感させたり、学校のきまりを守るようにさせることで規範意識をもたせたりするなど、安全に対する意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>避難及び防災訓練等を年間3回以上、地域とも協力しながら実施したり、「ろうか・階段は右側を静かに歩こう」という月目標を年間2回設定するとともに、「右側強調週間」を設定し、規範意識を強めたりする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立佃小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</li> <li>○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</li> <li>○ 平成30年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。</li> <li>○ 平成30年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>○ 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 今年度の校内アンケートにおける「勉強がよくわかりますか」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を93%以上にする。</li> <li>② 今年度の保護者アンケートにおける「グループ活動(全学年)や習熟度別学習(3～6年)等を工夫し、個に応じた学習を行っている」の項目について、「当てはまる(やや当てはまる)」と答える割合を前年度(73%)より向上させる。</li> <li>③ 今年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について「よく思う、思う」と答える児童の割合を91%以上にする。</li> <li>④ 今年度の手洗い・うがい週間での手洗い・うがいがんばり表における「給食前の手洗い・うがい」をした割合を96%以上にする。</li> <li>⑤ 今年度の校内アンケートにおける「残さず給食を食べている」の項目について「よく思う、思う」の割合を95%以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 習熟度別少人数授業の充実】</p> <p>年間指導計画を作成し、学習形態を工夫したり、学びサポーターを活用したり、指導内容について綿密な打ち合わせを定期的に行ったりすることにより、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>指標</p> <p>年間指導計画を作成し、習熟度別少人数指導(T・T指導含む)による授業時数を全体の3分の2以上実施し、児童アンケートにおける「これからもコースに分かれて学習したいですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合を80%以上にする。</p>	

<p>取組内容②【施策5 基礎・基本的な学力の定着】</p> <p>豊かな言語活動を行い、読書習慣を身につける。芸術に親しむ機会を意図的計画的に設定し、学習の成果を発表することを通し、豊かな感性や能力を培っていく。</p>	
<p>指標</p> <p>読書タイムの設定により年間15時間以上を確保し、校内アンケートにおける「本を読むのが好きですか」の項目について「よく思う・思う」と答える児童の割合を80%以上にする。また、週4日、佃タイムを設定し、百ます計算や漢字、視写に取り組むことで児童の基礎学力の定着を図る。</p>	
<p>取組内容③【施策8 授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>道徳科に重点をおいて研究活動を全学年で取り組んだり、若手教員を中心とした授業力向上のための授業研究会等を計画的に行ったりすることにより、全教職員の指導力向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>研究に関する授業研究会を全学年で実施したり、教科主任等による校内研修会を行ったりすることで教員の指導力向上を図る。</p>	
<p>取組内容④【施策7 体力向上への支援】</p> <p>体育科の指導や休み時間に、体を動かすことの楽しさを感じ取らせ、運動に関する「がんばりカード」等を作成することにより、運動に対する興味や関心、意欲を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>「なわとび」や「かけあし」等の運動強調週間の「がんばりカード」を全校児童に配付し、登校後や休憩時にも運動に意欲的に取り組めるようにする。学期に1回、運動週間の取組を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康な生活習慣の確立】</p> <p>姿勢や手洗い・うがいなど、強調週間を設定したり、保健に関する講話を定期的実施したりすることにより、基本的な生活習慣を身につけることの大切さを理解させる。</p>	
<p>指標</p> <p>週に1度各教室で清潔調べを行ったり、学期に1回保健強調週間を設定したりする。その際にはチェックシートを活用し、振り返りの機会を持つことにより、日常的に健康を意識できるよう取り組む。</p>	
<p>取組内容⑥【施策7 食育等、健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>給食指導の充実を図るとともに、栄養指導を行ったり、給食だよりを配付・指導したりすることにより、「食」に対する意識を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>食への関心を強めるため、委員会を中心に、食に関する紙芝居や劇を実施したり、交流給食を実施したり、年に2回「もぐもぐ週間」を実施し、残食数を調べたりする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	